



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
 コード番号 7030 URL https://sprix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 長 (氏名) 筒井 努 TEL 03(6912)7058
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	8,438	—	1,255	—	1,254	—	896	—
2019年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 891百万円 (—%) 2019年9月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	52.30	50.36
2019年9月期第3四半期	—	—

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率、2019年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	10,614	7,842	73.6
2019年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 7,810百万円 2019年9月期 ー百万円

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2020年9月期	—	15.00	—		
2020年9月期 (予想)				16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,063	—	1,099	—	1,098	—	791	—	46.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	17,311,950株	2019年9月期	17,131,050株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	170,195株	2019年9月期	195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	17,146,078株	2019年9月期3Q	17,130,957株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、子会社として株式会社プログラミング総合研究所を新たに設立したことに伴い、2020年9月期第2四半期より、連結決算へ移行しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、第2四半期連結会計期間に、プログラミング検定の運営などを行う株式会社プログラミング総合研究所を設立し連結決算に移行しているため、前年同四半期連結累計期間および前連結会計年度との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、当初は企業収益及び雇用・所得環境の改善から緩やかな回復基調が続いていたものの、新型コロナウイルスの急激な拡大による影響が懸念され、非常に不透明な状況となりました。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化による学齢人口の減少が続くなかで、教育制度の再構築が徐々に進められており、対応策を講じることが必要になってきております。また、新型コロナウイルスの影響により、小学校、中学校、高等学校等への通学が困難になる中、IT技術活用による新たな教育・指導形態の必要性が尚一層高まっております。

当社は、このような状況のもと、中核事業である「森塾」（個別指導塾）においては、当第3四半期連結会計期間末で直営115教室（前期末比18教室増）展開したものの、新型コロナウイルスの影響を受けたため、新年度の入塾が例年のように進みませんでした。この結果、当第3四半期連結会計期間末における直営在籍生徒数は26,682人（前年同期比265人減）となりました。なお、3月に実施した休校に伴い授業を4月以降に振り替えたため、一部売上が第3四半期連結会計期間での計上となりました。また、「自立学習RED」（教育ITを利用した学習塾）のフランチャイズ展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末においてFC教室数115教室（前期末比40教室増）となりました。一方、組織力強化のための人員増及び新校舎の設備関連費用増加などを当初の想定通り進めたことにより、売上原価、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高8,438,796千円、営業利益1,255,578千円、経常利益1,254,797千円、親会社株主に帰属する四半期純利益896,740千円となりました。

当社の業績は、「森塾」を中核事業とする学習塾サービスにおいて、夏期（7月・8月）、冬期（12月・1月）、春期（3月・4月）の講習実施時期に、他の月と比較して売上高が増加する傾向にあります。また、教育関連サービスのテキスト販売においては、新学期開始前の3月前後に売上高が集中する傾向にあります。

当社グループは、教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は8,439,793千円となりました。主な内訳は、現金及び預金7,018,552千円および未収入金867,524千円となっております。

また、固定資産の残高は2,175,143千円となりました。主な内訳は、有形固定資産1,174,209千円、無形固定資産99,949千円および投資その他の資産900,984千円となっております。

以上の結果、総資産は10,614,937千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,276,007千円となりました。主な内訳は、前受金866,134千円および未払金822,473千円となっております。

また、固定負債の残高は496,563千円となりました。主な内訳は、資産除去債務330,846千円となっております。

以上の結果、負債合計は2,772,571千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,842,366千円となりました。主な内訳は、利益剰余金5,189,238千円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月13日の「2020年9月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,018,552
売掛金	145,273
商品及び製品	226,310
仕掛品	20,627
未収入金	867,524
その他	173,552
貸倒引当金	△12,046
流動資産合計	8,439,793
固定資産	
有形固定資産	
建物	1,082,569
その他	91,639
有形固定資産合計	1,174,209
無形固定資産	
投資その他の資産	
その他	901,165
貸倒引当金	△180
投資その他の資産合計	900,984
固定資産合計	2,175,143
資産合計	10,614,937
負債の部	
流動負債	
買掛金	51,864
未払金	822,473
未払法人税等	68,416
前受金	866,134
賞与引当金	146,253
成績保証引当金	7,005
返品調整引当金	12,227
その他	301,632
流動負債合計	2,276,007
固定負債	
役員退職慰労引当金	68,121
退職給付に係る負債	97,595
資産除去債務	330,846
固定負債合計	496,563
負債合計	2,772,571
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,422,894
資本剰余金	1,412,894
利益剰余金	5,189,238
自己株式	△214,834
株主資本合計	7,810,193
その他の包括利益累計額	
退職給付に係る調整累計額	△677
その他の包括利益累計額合計	△677
非支配株主持分	32,849
純資産合計	7,842,366
負債純資産合計	10,614,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,438,796
売上原価	5,219,941
売上総利益	3,218,855
販売費及び一般管理費	1,963,276
営業利益	1,255,578
営業外収益	
受取利息	54
受取保険金	597
助成金収入	450
その他	1,097
営業外収益合計	2,199
営業外費用	
支払手数料	2,752
その他	228
営業外費用合計	2,981
経常利益	1,254,797
特別利益	
資産除去債務戻入益	19,428
受取補償金	71,105
特別利益合計	90,533
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	1,041
特別損失合計	1,041
税金等調整前四半期純利益	1,344,288
法人税、住民税及び事業税	491,078
法人税等調整額	△36,380
法人税等合計	454,697
四半期純利益	889,590
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,740

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	889,590
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	2,031
その他の包括利益合計	2,031
四半期包括利益	891,622
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	898,772
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、教育サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。